

▶ スコアボード ◀

第44回 横浜少年サッカー大会 (市長杯)  
 開会式 1月5日(土) 10:00~  
 日産フィールド小机

YFA新春サッカーフェスティバル  
 1月6日(日) 横浜スタジアム

会員総会  
 3月25日(月) 予定 県民センター



発行 一般社団法人横浜サッカー協会  
 編集 同 広報委員会  
 〒222-0033  
 横浜市港北区新横浜2-6-3  
 DSM新横浜7F  
 TEL(045)474-4315 FAX474-4316  
 http://www.yokohama-fa.or.jp  
 印刷 神奈川新聞社  
 〒231-8445 横浜市中区  
 太田町2-23  
 TEL227-0739 FAX227-0785

第50回国際チビツ子サッカー大会

= 優勝 =

- U12-1部 バディーSC
- U10-1部 バディーSC
- U8 バディーSC
- U12-2部 万騎が原SC
- U10-2部 バディーFC
- 少女の部 横浜ウインズSC



U12 1部 優勝 バディーSC



U10 1部 優勝 バディーSC



U8 優勝 バディーSC



少女の部 優勝 横浜ウインズ

第50回国際チビツ子サッカー大会は平成30年9月9日に開幕し、各クラスで予選リーグ、決勝トーナメントを行い、11月25日のU10、U8、少女の部の決勝戦で、約3か月に亘る熱戦の幕を閉じた。U12は今年度からJFA、U12サッカーリーグと名称が変わり、後期リーグとJFA全日本U12サッカー大会神奈川県中央大会出場を決める予選会を兼ねている。

その結果、U12-1部決勝戦では、バディーSCが大戸FCを3-0で倒し優勝し

た。また、U12-2部では万騎が原FCが駒林SCとの熱戦を制し優勝した。

U10-1部ではバディーSC・S、U10-2部でもバディーSC・W、U8の部でもバディーSCが優勝し全カテゴリー制覇となった。少女の部では横浜ウインズがPK戦を制し優勝した。

各クラスの熱戦の結果は次

の通り。

◎U8の部	☆3位決定戦	あざみ野 2-1 SC H.
☆決勝戦	バディー 3-0 大豆戸 FC	
◎U10-1部	☆3位決定戦	あざみ野 1-0 SC H.
☆決勝戦	バディー 3-0 FC W	
◎U10-2部	☆3位決定戦	中沢SS 3-1 飯島FC
☆決勝戦	バディー 8-0 六浦毎日 SS	
◎U12-1部	☆3位決定戦	SC H. 3-1 FC
☆決勝戦	バディー 3-0 大豆戸 FC	
◎U12-2部	☆3位決定戦	八ッ橋 5-1 港南台 SC
☆決勝戦	万騎が原 2-0 駒林SC FC	
◎少女の部	☆3位決定戦	緑ビク 5-1 篠原つばめ SC
☆決勝戦	横浜ウインズ 0-0 金沢 (4PK3) ガールズ SC	

優勝チームキャプテンのコメント

U12-1部 バディーSC  
 金子 俊輔君

僕たちバディーSCは、この大会を通していろいろな経験ができ、成長することができました。一番印象に残っている試合は準決勝です。9月からリーグ戦が始まりましたが、なかなか勝つことができませんでした。トーナメントに入り準決勝の相手はリーグ戦で負けた相手です。この試合ではリーグ戦の反省点である常に声を掛け合うことを意識して試合に臨みました。集中力を高め、みんなでコミュニケーションを取り試合に臨んだ結果勝つことができました。決勝もその勢いで戦い優勝することができ、とても嬉しかったです。

U10-1部 バディーSC  
 吉岡 杜萌輝君

僕は春の大会で自分のパスマスによって失点してしまったことがすごく心に残っていて、この大会ではパスやトラップの精度を意識してピッチに上がりました。決勝戦ではチームが全体的にゴールを意識しすぎてあせってしまっていたので、みんなで声を掛け合いながらプレーを落ち着かせてゴールに向かいました。

少女の部 横浜ウインズ  
 河原 陽万里さん

私たち横浜ウインズは、所属人数が少ないので1年生から6年生が試合に出ます。今大会も高学年メンバーと低学年とで出場し、フル出場した子もいました。最後は、疲れた様子だったけど頑張ってくれました。

U8 バディーSC  
 藤原 悠人君

春の市大会でゆうしようできたので、秋の市大会でもゆうしようできるようにがんばりました。だから、ゆうしよ

キャプテンとして心掛けたことはチームメイトが今何をやるべきかを大きな声と全身を使ってアドバイスを送り続け、手を叩いて盛り上げました。もうバディーの仲間と練習することや、試合に臨めることは残り数か月ですが、これからの一試合一試合を大切にしていきたいと思っています。この大会もそうですが、今まで応援してくれた保護者の皆様、バディーの先生、本当に支えてくださりありがとうございます。

チーム一丸となってプレーできたことがすごく良かったです。その結果が優勝につながったと思います。この結果に満足せず、これからもみんなで練習を重ねて、競いながら強くなっていきたいです。次の県大会でも優勝できるようにチーム全員で頑張ります。

決勝の相手は昨年の決勝で負けてしまったチームでした。だから今年は絶対に勝ちたいと強く思い、相手に強くなり、試合中は仲間の気持ちを盛り上げるために声を出したり、仲間のためにナイスプレーと背中をたたいたりハイタッチしました。するとみんなの気持ちが一丸となり、仲間の連携プレーが増えました。そして試合はPKまで続き自分がキーパーになりました。仲間の気持ちを背負い相手のシュートを止め仲間がPKを決めて優勝することができました。

U10-2部 バディーSC  
 原田 誉裕君

ぼく達は、チームメイトと

は、強いコーチの思いとこうした方がよいよと言いつけた仲間、熱い応援をしてくれた人がいたからだと思っています。今大会は良い思い出になりました。

ハーフタイム

新年あけましておめでとうございます。「平成」という年号での最後の新年です。5月1日からは新しい年号となります。

はげまし合い、協力して今大会で優勝することができました。今大会の目標は、無失点で優勝したいと思っていました。けれども予選で1失点したので気合を入れ直し、決勝戦を無失点で勝つことができました。この優勝に満足せず、高い目標を作り、それに向かって努力したいと思っています。そして6年生になったら全国大会に行き、全国で活躍できるようにがんばりたいと思います。

(丁)

# 青葉ガールズが優勝

## 第5回すずらん少女大会



第5回すずらん少女サッカー大会は、10月8日に玄海田運動公園で11チームが参加して行われた。大会は、トーナメント方式で行われ、それぞれ2試合を勝ち抜いてきた横浜ウインズと青葉ガールズでの優勝決定戦は、青葉ガールズが2対0で横浜ウインズを下し、前年度のリベンジを果たし優勝した。

優勝：青葉ガールズ  
準優勝：横浜ウインズ  
第3位：金沢ガールズ  
一本松SC

# 指導者の質・量の向上を

日本サッカー協会 技術委員 加藤 好男氏が講演



平成30年度YFA指導者講演会が11月17日、かながわ県民センターで行われた。講演会は、横浜から世界

に通じる指導法「日本が行うべき育成年代の指導法」世界からの逆算」と題して、日本サッカー協会技術委員会ユース育成アドバイザー・加藤好男氏が、ロシアワールドカップ大会を分析して、2018W杯での基本的なスタジアムと共有しているものとして①スピーディー（プレー・切りかえ・判断）②テクニカル（動きながら正確・状況に応じて）③タフ（ハイプレッシャー・90分120分闘い続ける）④全員攻撃・全員守備（攻守に関わり続けること）⑤戦術的柔軟性・対応力（いろんなプレーができる・精度の高い基本）について、それらの場面をビデオ映像で紹介しながら説明した。

また、日本の戦いについて、ボールを中心としたコレクティブな守備への評価、中盤での精度、高さ対応などの課題などについても紹介。そして、優勝国、ベルギーの取り組みについても、様々な戦術を使い分ける対応力があり、ゲーム中でもフォーメーション、戦術を微調整しながら戦っていた。また、経験豊富な選手が若手の才能を引き出す相乗効果が見られたところなどについて紹介した。

これからの日本サッカーのレベルを高めるためには、指導者のさらなる質・量の向上が必要であると語った。

# 友好都市10チームを招待

## 第30回横浜招待少年サッカー大会



第30回横浜招待少年サッカー大会は12月8日・9日の2日間にわたりしんよこフットボールパークで開催、熱戦が繰り広げられた。大会は、横浜トレセン

# FUTUROが優勝

## NHK杯少年サッカー大会

2018年度NHK杯8人制少年サッカー大会兼県大会横浜予選（NHK横浜放送局、横浜サッカー協会共催）が、11月3日・4日の2日間にわたり、しんよこフットボールパークで行われた。

この大会は18区の5年生の代表チームによる8人制の大会で、12月開催の県大会の横浜予選代表を決める予選会を兼ねている。

1日目は4チーム5ブロックの予選リーグを行い、各ブロック1位の5チームと2位

（ワイルドカード）の3チーム計8チームが2日目の決勝

1日目の予選リーグは、参加15チームを5チームずつ3ブロックに分けて8人制によるリーグ戦を行った。2日目は、1日目の予選リーグの結果から上位、中位、下位のブロックに5チームずつ分けて順位決定リーグ戦を行った。中位、下位リーグは1位チームを表彰。上位リーグは1位から4位までのチームに賞状とカップを授与した。上位リーグの順位は次の通り。

1位：茅ヶ崎トレセン  
2位：横浜トレセンB  
3位：横浜トレセンA  
4位：川崎トレセンA  
5位：藤沢トレセン

トーナメントに進出した。決勝戦は1対0でJFC FUTUROが、3位決定戦では2対0でYSCCが、勝利した。

総合順位は次の通り。

# 60代チーム惜敗！

## ねりんピック富山大会



昨年11月3日から6日の間に富山県で開催された第31回全国健康福祉祭富山大会（ねりんピック富山2018）に政令都市・横浜市から60代チームのメンバーの中から構成する「横浜シニア60」が横浜市の代表として参加してきました。

初日の3日は開会式が富山県総合運動公園で行われ、横浜市は「長野県・広島県・長崎県」の各代表チームとGグループに属し、横浜チームの初戦は翌4日に長野県チームと富山県総合運動公園のサブグラウンドでの対戦となった。当日は、曇り、会場に着くと雨がポツポツ、だが、まもなく上がる。試合は、前半は押し気味で0-0で終了。後半3分、長野の左からの攻めに對し、最初の詰めが甘く二人が振り切られ、左サイドからのシュートが右サイドネットへ。横浜は残念ながら得点を

チーム名	横浜市	長野県	広島市	長崎県	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差	順位
横浜市	-	● 0-1	● 0-1	○ 2-0	3	1	0	2	2	2	+0	4
長野県	○ 1-0	-	△ 0-0	● 0-1	4	1	1	1	1	1	+0	2
広島市	○ 1-0	△ 0-0	-	● 0-2	4	1	1	1	1	2	-1	3
長崎県	● 0-2	○ 1-0	○ 2-0	-	6	2	0	1	3	2	+1	1

感じさせるシュートもなくホイッスル。

翌日の第2戦目は晴天の下、開始、相手は広島代表。前半落ち着きのない展開、15分、田中の競り合いがPKの判定、得点を許す。その2分

後、中川原の左からのセンターリングが僅かに長尾と合わず、前半終了。後半5分、中川原がボールの奪い合いで右膝を痛め、平野と交代。その後、得点を感じさせるシーンもなく、試合終了。

中川原は救護室の診断では靭帯を痛めたことと本日限りはリタイヤとなった。最終戦の相手、長崎県代表との試合は、開始して前半11分、田中の左からのセンターリングを相手がクリアミス、ポストに当たり、戻ったボールを詰めていた廣瀬が押し込み本大会の初ゴール。1-0で前半を折り返す。後半5分、自陣で得たFKを河野が前線左へロングフット、このボールを直接受けた廣瀬がシュート、待望の2点目。残り時間を全員が集中して守り、初勝利となりました。このグループの対戦結果は紙一重の接戦で残念ながら、惜しくもメダルに届きませんでした。

# 指導者81名受講

## D級コーチ養成講習会

日本サッカー協会公認D級コーチ養成講習会が12月15日・16日の2日間にわたり、しんよこフットボールパーク、スポーツ科学センターで、受講者81名が参加して行われた。

このD級コーチ養成講習会は、少年少女サッカーの指導者を養成するために、基本となる指導方法についての講習で、講義と実技が行われた。

# 創立150周年記念で

## 交流試合 YC&AC

今年、創立150周年を迎えた横浜カントリー&アスレ

ティッククラブ（YC&AC）は、11月25日に横浜の少年サッカーチームを招きサッカーの親善試合を行った。

親善試合は、同クラブのU8とU10のチームが、横浜サッカー協会から推薦の篠原つばめSCと平戸FCと試合を楽しんだ。試合前には親睦を深めるためペナントの交換も行った。YC&ACではこれを機会に、横浜の少年サッカーチームとの交流を深めたいとしている。



# 法人会員一覧

横浜マリノス(株)  
神奈川新聞社  
(株) 横浜シミズ

横浜食品開発(株)  
JFE東日本ジーエス(株)  
(株) 横浜アーチスト  
(有) フリースタイル